

## 小倉生健会の会報

# 「生活と健康を守る」発刊

皆さんこんにちは。「小倉生健会」です。

生健会運動は 60 年を超える歴史をもつ運動ですが、小倉生健会は 9 年前に再建されました。まだまだ会員数も少ないのですが、「一人はみんなのために、みんなは一人のために」を合い言葉に、今は生活保護をはじめとする生活困窮者問題や、貧困と格差を是正するための運動、そして生存権を守るための裁判闘争も行っています。

これからは、全国の生健会が行っている医療、介護、年金、税金、雇用、住宅、子育て教育、平和の運動なども強化し、会員を増やし地域の中でしっかりとした役割を果たすことができるよう頑張る決意です。

そうした思いで、このたび小倉生健会の会報「生活と健康を守る」を発行しました。是非お読みいただき、皆さまのお力をお貸しいただきますようお願いいたします。

## 《第 10 回小倉生健会総会開催》

全生連小倉生健会が再建されて、まる 10 年になりました。10 年前と言えば、「おむすび食いたい」の餓死事件が頻発した時です。

総会では、生活保護の水際作戦が未だに改善されていない現状を変えていこう。生活保護だけでなく、医療・介護・平和や雇用などについても、運動の幅を広げ、生活困窮者、低所得者の生活と健康を守る。そのために、会員を現状の 3 倍近い 100 世帯に広げることを決意しました。



総会には日本共産党の柳井誠市議会議員が参加し、激励のご挨拶をいただきました。



小倉生健会  
**生活と健康を守る**  
一人はみんなのために、みんなは一人のために



## 私の要求

吉田団地の班会議

小倉南区吉田で班会議が開かれ「私の要求」が出されました。

広大な市住吉田団地には、小さな公園が多くあり、親子づれや、子どもたちが利用しています。しかし、公園にトイレが一箇所もありません。広大な団地全体に公衆トイレがないため、男の子は立ち〇〇をしています。公園近くの会員さん宅に頻繁に子どもがトイレを借りに来ているので、団地内に公衆トイレを作ってください。

他にも、ごみステーションのガラスよけや吉田から沼に行くための道路を整備してほしいなどの「私の要求」が出されました。



小倉生健会とは小倉北区と小倉南区における生健会です。

◇生健会「生活と健康を守る会」とは◇  
昭和 29 年に誕生した全国組織、全生連「生活と健康を守る会連合会（全生連）」は「働かせろ！食わせろ！病気をなかせ！」のスローガンをかけて、創立以来 63 年間にわたって、人間らしく生きることを（生存権保障）を求めて運動をひろげ、国や自治体に暮らしに役立つ、皆さんの制度を実施・改善させてきました。

## 「おむすび食いたい」餓死事件から 10 周年 記念集会 in 北九州

～あれから 10 年、日本の生活保護はよくなったか～

9 月 30 日(土) 総会：13 時 ～ 13 時半  
集会：13 時半～16 時半  
会場：ムーブ 5 階(小倉北区大手町)

### <記念対談>

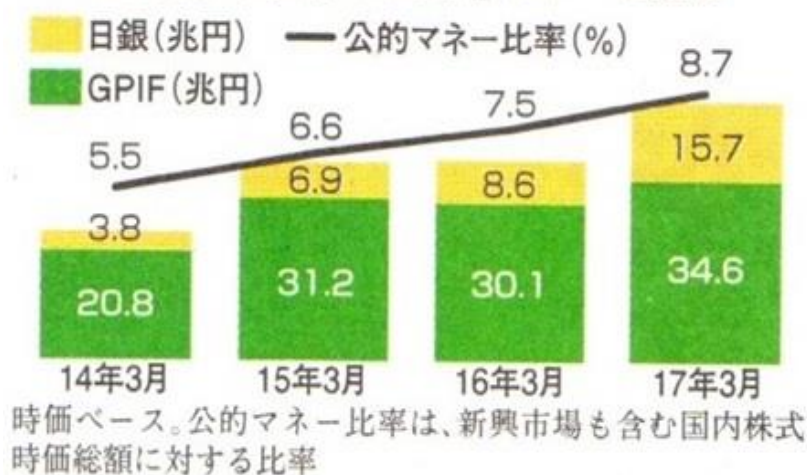
雨宮処凛：反貧困ネットワーク副代表・週刊金曜日編集委員  
尾藤廣喜：弁護士・生活保護問題対策全国会議代表委員

### <報告>

北九州餓死事件から 10 年 高木健康  
生活保護支援九州沖縄ネットワークのあゆみ 高木佳世子



## 国内株式市場での公的マネーの推移



## 年金の積立金と日本銀行が株を 買い支え 50 兆円

国民の年金積立金が株を買い支えていることは知られていましたが、さらに、日本銀行も同じことをしていました。その合計金額はなんと 50 兆円にもなります。

東証 1 部上場企業（大企業）の実に 3 割で「公的なお金」が、筆頭株主となる異常さです。大企業に投入された「公的なお金」は、トヨタ 1.5 兆円、三菱 UFJ 1.7 兆円、ソフトバンク 1 兆円です。不安定な株価を支えるためでなく、国民にお金を回して日本経済を元気にしよう。

## ＝市議会に陳情＝ 生活保護申請手続きに5時間

生健会は、市議会保健病院委員会に、生活保護の申請手続きが長すぎる。申請するまで5時間もかかったことについて、迅速な申請業務を求めました。

●大石市議(共産)：私は最近は何の北九州市、要するに窓口で申請者を追い返すような水際作戦をやっていないのではないかと思います。ところが、この間、立て続けに次のような事例がありました。

3月に生活保護の申請をするため小倉北区役所に行かれた方に、面接係長が「あんたなんね、連絡もなく生活保護の申請に急に来られたら困るよ。とにかく働きなさい」と言われ追い返されました。

27才のシングルマザーの方で、DVになって5才の子どもさんがいる方が生活保護の申請に行くと「あなたなんですか。27才でしょう。若いから仕事をして下さい」と言うことで帰されている。鬱病で働けないから申請させて下さいと言ったら若いからダメですと言われた。若い人は生活保護が受けられないのか。

■保護課長：受け止め方ですね。働きなさいと、そういうふうに受け止めたのではないかと、それは、担当員の話し方にもよると思います。こういう件につきましては、また個別に福祉事務所の方に、こういう事案があったということは指導していきたいと思います。

●田中市議(共産)：保護の申請時間は平均70分というが、70分で終わったことは1度もありません。

二つの問題がある。聞き過ぎ言い過ぎです。こと細かにどこで生まれたんですか。いつ結婚したのですか。とにかく聞き過ぎ。もう一つは言い過ぎ。こういう場合はだめですよとか。私は、本会議でも言いましたけれど、窓口で事前審査を事実上やってるんですよ。少なくとも、相談に来た人には、そう思われているんです。それで時間が長くなる。

国が作成した保護の実施要領の中には、「保護者の申請権を侵害しないことはもとより、申請権を侵害していると疑われるような行為も厳に慎むこと」と書いているんですよ。わかりますか。疑われているんですよ。今、北九州市は、そういう認識ありますか。

私が北九州市の相談係長、相談窓口の対応について、一番強く思うのは、市民に対する思いやりが足りない。生活で困って来ているのに助けをという、そういう雰囲気が見えない人がいる。みんなとは言いません。そういう方が対応されているところに、大きな原因があると思います。市民が困って、窓口に来て相談しているのに、なんとか助けてやれないのかなという立場が欠落しているのではないかと。

■保護課長：丁寧な説明と、バランスをとりながら、効率的に相談者の負担にならないように、努力していきたい。

●日野市議(自民)：生活保護をお願いする時は、大石先生、田中先生に頼んだら何とかできそうですね。保護が通りそうですね。私も今度(二人に)お願いに上がりましょう。

●田中市議(共産)：日野議員から名指しで本気か冗談か分かりませんが。田中と大石が保護課の窓口に行けば、保護が通るだろうということを言われたので一言、言っておきたいと思います。保護課長にお尋ねしますが、同行者がいて、左右されることはないですよ。

■保護課長：生活保護法と国が定めた実施要領に基づいて行っておりますので、最終的に保護の決定はそういう第三者に関係なく実施機関で決めることになっております。

●田中委員：保護は今課長おっしゃったとおり、あくまでも法的に審査を行って決定すべきものであって、いわゆる忖度とか行政をゆがめるとか、いうことはないと思ってまして、私たちもそのような立場をとっておりません。決定がおりない人は降りない。(私たちは)保護が取れない人を無理やりにとらせるかのようなことは行っておりません。誤解がないようにしていただきたい。

## 生活保護支援九州・沖縄ネットワーク 10周年記念集会 IN 北九州



### 雨宮 処凛 × 尾藤 廣喜

## 2017年9月30日(土) 13:30～16:30

会場 ムーフ (北九州市立男女共同参画センター)

### 記念対談

### 餓死事件10年

### ～あれから日本の生活保護はよくなったか～

報告1 北九州餓死事件からの10年

高木健康 さん

報告2 生活保護支援九州・沖縄ネットワークの歩み

高木佳世子 さん

共催：生活保護支援九州・沖縄ネットワーク 北九州市社会保障推進協議会  
いかんよ貧困・福岡の会

後援：福岡県司法書士会 福岡県弁護士会 (予定)